

第4部 地域計画

南部地域

西部地域

中心地域

北部地域

■ 地域計画とは

総合計画の策定にあたっては、住民と行政職員が協働でまちづくり・地域づくりについて考える「地域別まちづくりワークショップ」を実施しました。

ワークショップは、南部地域・西部地域・中心地域・北部地域の4地域に分けて行い、散策などを通して地域の良さや課題について再発見・再確認するとともに、それを踏まえて「地域のために自分たちができること（自助・共助）」について検討し、地域計画としてまとめました。

今後、実際の地域活動につながっていくよう、町としても支援したいという趣旨から、4地域の地域づくりの構想として総合計画の中に位置づけています。

また、ワークショップで話し合われた「地域と行政の協働での取り組み（公助）」のアイデアについては、「行政と地域との協働で取り組むこと」として位置づけ、必要性和緊急性を検討して基本計画の内容に反映させています。

自助：個人や家族による支え合い・助け合い

共助：地域社会における相互扶助、地域活動や地域ボランティア等による支え

公助：公的な制度として、関連する施策に基づくサービスの提供

地域計画の4つの地域

南部地域：幸子上・幸子古、幸子団地

西部地域：別府、楡生、鈴熊、
今吉上・今吉下、土屋、直江

中心地域：和井田、広津上・広津下、昭和

北部地域：界木、小犬丸上・小犬丸下、
喜連島上・喜連島下、高浜

「吉富町都市計画マスタープラン」（平成21年3月）
の地域別構想に基づく4つの地域



南部地域

【幸子上・幸子古、幸子団地】

南部地域について

南部地域は山国川に面して八面山がみえる風景のよい河川敷があり、篠塚山や農地をはじめとする自然と住宅地・団地が共存した地域です。また、河川敷は水辺の散歩やジョギング等で人の行き交いが多く、「よしとみ・ワッシュョイ・春まつり」や小学生のたこあげ大会等にぎわいます。

また、黒川は寛政6年（1794年）に山国川に向かって掘り割り、新たな耕作地が生まれました。今では河川敷に桜並木があり、初夏には蛍がみられる地域生活に密着した川です。

現状と課題

黒川は以前、川の流れが止まっていたましたが、地域住民からの要望に対し、県が実施した掃除によって川の流れが戻った経緯があります。山国川に接する南部地域では、川沿いにごみが漂着することもあり、地域住民で清掃などの環境美化に取り組む必要があります。また、一人暮らし高齢者が増加傾向にあるため、防犯活動や見守りなど地域内の協力が必要であり、団地では住民同士の交流・近所づきあいが減ってきているため、その対応も今後の重要な課題です。また、農業における後継者が不足し、農業環境を整備する人手も不足しています。

南部地域 地域計画のキャッチフレーズ

住んでよし 歩いてよし 生活しやすい幸子地区
～みんなで声かけ 幸せな地域(しあわせ幸子地区)～



地域で取り組むこと

① 住むことに最適な環境づくり、農業をしやすい環境づくりを進めます！

一人ひとり・家族ができること【自助】

- 優良な農地を保全して、次の世代に引き継いでいきます。
- 個人宅の庭がきれいなため、これからもきれいな庭の風景を地域みんなにおすす分けできるように庭づくりに励みます。
- 団地においては、路上駐車を減らし、団地内の美化活動に積極的に参加・協力します。

地域みんなで協力していくこと【共助】

- 黒川の堤防を活用して、四季それぞれの花畑づくりを検討します。
- 地域みんなでごみ収積所（幸子古）の周辺を整備したように、知恵と工夫を重ねて今後も美しい生活環境を守ります。

② 人と人とのつながりを強めて、お互いに協力できる関係をつくります！

地域みんなで協力していくこと【共助】

- 南部地域ではみんなで挨拶や声かけを行います。

行政と地域との協働で取り組むこと

- 安全のため県道に横断歩道を設置

ワークショップで出たアイデア・着想

- ・ 健康維持のため、河川敷を中心にウォーキングコースをつくり、みんなで歩く。
- ・ 今後も、これまでと同じように良い住環境を維持していき、幸子にネームバリューがでるような地域づくりを行う。
- ・ 神揚池のハスの花・れんこん等についてPRする。

西部地域

【別府、楡生、鈴熊、今吉上・今吉下、土屋、直江】

西部地域について

西部地域は鈴熊山を中心に、地域の西側には佐井川が流れ、市街地と田園がある自然に恵まれた地域です。また、地域には貴船神社や春日神社、「藩界石」のある八坂神社、「お水とり・水占い」「安産石」のある壺神社、土屋神楽など、歴史・文化の根付く地域でもあります。鈴熊山や佐井川沿いの風景は美しく、快適で安全な魅力ある地域となっており、今後も住宅地としての役割が期待されています。

現状と課題

西部地域は田園のある地域ですが、近年は田が少なくなっており、休耕田も増えてきています。生活道路については狭いところや車のすれ違いが難しいところがあり、空き家や空き地が目立つ場所もみられます。

よりよい地域としていくためには、身近な地域での住民同士の協力やふれあいが大事であり、そういった交流を育むためのしくみをつくっていくことが必要です。また、地域の資源である公園や歴史・文化遺産、佐井川などを活用し、地域の魅力を発信していくことが重要です。

西部地域 地域計画のキャッチフレーズ

**鈴熊山で森林浴 由布岳に会いに行こう！ 鯉と語ろう 佐井川健康ウォーキング！
佐井川から発信！歴史と文化を守る、自然あふれる健康づくり地域 西部地域**

地域で取り組むこと

① 極める。西部暮らし

一人ひとり・家族ができること【自助】

- 一人暮らし高齢者と日頃から連絡をとるようにします。

地域みんなで協力していくこと【共助】

- 住民それぞれがアイデアを出し合い、協力して、いろいろな場面で高齢者と子どもたちのふれ合いの機会をつくり、地域の絆をつくれます。
- 公民館などを親子3代の交流の機会の場や、次世代に伝承する場としての活用を図ります。
- 地区行事の情報発信（新聞、かわら版の発行など）について工夫します。
- 地域で取り組まれている交流活動にみんなで参加します。
- 壺神社の安産祈願では、丸石を持って帰ってお守りにすることができるので、地域住民で知らない人には伝えていきます。
- リーダーの育成や各地域活動の活性化を図り、人との関わりやつながりを保ちます。

② 佐井川をもっと活用しよう！

一人ひとり・家族ができること【自助】

- 佐井川にある飛び石は見た目もよく、渡るのが楽しいので、注意して渡りつつ、みんなで活用します。
- 西部地域のウォーキングコースを歩いて、健康づくりに努めます。
- 佐井川の草刈に協力します。

地域みんなで協力していくこと【共助】

- 宝賀池～佐井川公園をウォーキングコースとしてつなげ、住民みんなの健康づくりに役立てます。
- 佐井川～宝賀池～鳳寿園のルートでの、地域資源（野池、川遊び、桜の木）の活用について、各地域団体が連携して検討します。

③ 西部の「いいもの」を紹介します。

一人ひとり・家族ができること【自助】

- 吉富の自慢料理をつくり、次世代に伝えます。

地域みんなで協力していくこと【共助】

- 町のブランドが京築のブランド、宇佐・国東まで含む「豊の国」としてのブランドとなるよう、インターネット等を活用して住民自身が情報を発信し、ブランドづくりに取り組みます。

行政と地域との協働で取り組むこと

- 佐井川は大水のたびに荒れるので岸の整備が必要
- 散歩道にトイレやベンチ等の施設の設置を検討
- 佐井川沿いの空き地を活用し、水辺学習ができるように整備
- 町や京築のブランドについて行政と協力して情報発信
- 公園、グラウンドなどの利用拡大のため情報発信、詳細な情報の盛り込まれた地図の配布
- 町内統一的な案内板を設置するなど、史跡、文化財に親しみやすいよう配慮
- 通りや木の下などに花を植えることによる、明るい地域づくり

ワークショップで出たアイデア・着想

- ・ 地域づくりに活力をつけるため、NPOの立ち上げが必要。
- ・ B級グルメ（海産物）の開発で町の活性化を図る。
- ・ 西部地域の観光環境の充実を図る。
- ・ 豊前の中の吉富、宗教からみる吉富（英彦山～宇佐～国東）、“人”を通してふり返る吉富、中津街道からみた吉富（明治維新へ向けての吉富）などのテーマに基づくまちづくり。
- ・ まちづくり活動を進める「言いだしっぺの会」をつくって、みんなで参加する。
- ・ 土屋文殊講は、わらを持ち寄り、火を焚きながら地域みんなで交流する地区の大切な行事。この行事を確実に地区に残し、多くの人に知ってもらいたい。
- ・ 歴史や文化を伝えていくために、民話（まちのおはなし）を集めて、学校の総合的な学習のときに活用するなど、地域の子どもたちが学べる環境づくりに取り組む。
- ・ 散歩道のさらなる活用として、佐井川ウォーキングコースを設定する。（土屋橋からの距離や目安となる時間を表示する等）
- ・ 宝賀池と佐井川公園をウォーキングコースの一部としてつなげる。
- ・ 土屋のカンナが多く咲いている「カンナ街道」を上流まで広げる。
- ・ 鈴熊山やどんぐり広場、壺神社の案内をルート化し、史跡や文化財に親しめるような、オリジナルの看板づくりを進める。
- ・ 「吉富町庭百選」を創設し、庭全体のバランスや庭の歴史、庭木的美しさ等を基準として町が公式に評価し、景観形成やまちづくりに活用する。
- ・ 「吉富百選フォトコンテスト」や「吉富水辺百選」等を検討する。



中心地域

【和井田、広津上・広津下、昭和】

中心地域について

中心地域は、吉富駅をはじめとして、役場や医療機関、フォーユー会館や体育館等の公共施設等が集積し、商店も多く、町の中心に位置する利便性の高い地域です。

また、天仲寺公園が地域の一番の資源であり、展望所からの眺望や天仲寺古墳、幕末の剣豪で勝海舟に影響を与えたといわれる、島田虎之助の若き日の修練の場など多くの史跡があり、東には山国川の広い河川敷があります。

現状と課題

町の中心となる地域ではあるものの、町内における中心地域の人口比率は2割程度であり、近年では高齢者も多くなっているため、地域住民相互の協力が必要な場面が増えてきています。また、集落内の生活道路が狭く、交通量も多いため、緊急車両等の進入についての対応を検討していく必要があります。

さらに、中心地域の資源である天仲寺公園とその自然を活かした、うるおいある地域整備の展開が望まれます。

中心地域 地域計画のキャッチフレーズ

天仲寺山にはなにかがある！

**いっぺんきちょくれ みちょくれ てんつじやま
～花と歴史としあわせがみえる 吉富町の展望台～**

地域で取り組むこと

① 天仲寺公園・公園周辺を最大限に活用するための下準備を進めます！

一人ひとり・家族ができること【自助】

- 中心地域の一番の資源である天仲寺山を活用して、住民一人ひとりが吉富町をPRします。
- 天仲寺公園の展望台からの眺めの良さを有効活用します。

地域みんなで協力していくこと【共助】

- 中津市街を眼下に、展望所からみることができるとの出や、由布岳・九重連山まで見渡せるポイントがあり、花や鳥・歴史も楽しめるため積極的に紹介します。
- 天仲寺山の遊具や、きれいな紅葉・どんぐりは子どもが喜ぶと思うので、子育て世代に向けて情報を発信します。

② 天仲寺山を中心とした散策コースを考案し、さらなる展開を考えます！

一人ひとり・家族ができること【自助】

- 吉富町に訪れる人を増やします。また、話題となるような、集客できる魅力づくりを進めます。

地域みんなで協力していくこと【共助】

- だんご汁等の町のおいしいものを掘り起こし、また、B級グルメの活用を検討します。
- 正月の凧あげ大会や祭りなどで山国川の河川敷公園の活用を図り、中津市民を町に呼べるようなしかけづくりをします。

行政と地域との協働で取り組むこと

- 吉富駅前に有料駐車場を整備し、通勤や観光目的なら料金を安くするなどの工夫をして運営することを提案
- 自然資源、文化財資源の活用を図り、古墳（通路含む）、天仲寺山の古墳2基（1基は周辺を整備して目立たせる）、島田虎之助の修練地の標識を整備
- 来訪者が、天仲寺公園を楽しめるように整備
- 天仲寺山のいい景色がみられるポイントや最適な季節等の紹介をするために、看板やガイドを作成
- 町に多くのボランティア団体ができるよう、様々なボランティア団体等の活動を広く紹介・周知し、町の活性化を図る
- 天仲寺山を中心とした散策コースを考え、地元住民向け散策コースや観光客向け散策コース、高齢者に配慮した歩きやすい散策コース等を設定

ワークショップで出たアイデア・着想

- ・ 能楽堂を建立し、「薪能」を行うなど、古典に親しめるようにする。（能と神楽を両方できるような施設）
- ・ 作成するマップには、トイレやベンチ、東屋等のある休憩場所を記載し、親切なマップをつくる。
- ・ 散歩コースのマップの中で吉富町のおいしい食事処を紹介し、また、天仲寺跡地にお茶、いももち等を販売できる茶屋を建設する。
- ・ レンタルバイク（自転車）を周遊マップ付で貸し出しする。
- ・ 漁港とタイアップして道の駅をつくり、港界限に産業道路を整備し、人が集まる場所にする。
- ・ 廃棄された飛行機や列車などをレストランにし、近隣とタイアップした話題づくりを行う。
- ・ 竹林を伐採し、もみじを植林して、もみじ山にする。
- ・ 天仲寺山の夫婦木を活用したデートコースをつくる。
- ・ わかりやすく、かつ、目立つ案内看板で散策コースを表示し、天仲寺山を中心として散策コースのマップをつくる。
- ・ 陸・山の幸、カキなどの地場の食材を食べるところをつくる。



北部地域

【界木、小犬丸上・小犬丸下、喜連島上・喜連島下、高浜】

北部地域について

北部地域は吉富漁港をはじめ、工業や農業等の産業が集積する地域であり、また、古表神社における数々の貴重な有形・無形文化財もあり、歴史・文化を継承してきた地域でもあります。また、周防灘と山国川の両方に面しているため、付近では越冬するカモメやカモ等の野鳥たちもみられ、地域においては海の日清掃ボランティア等で環境を守るための活動もなされています。また、整備中の県道吉富港線の完成を契機に、新たな発展を担う地域として期待されています。

現状と課題

従来からの地域住民のつながりが強く、地域活動が活発になされています。古くからある集落であるため、生活道路や山国川沿いの堤防脇の道が狭く、安全面での課題があり、また、地元出身者以外との交流が進まない状況です。

今後は、地域おこしとしての漁港の活用や、子どもの育つ環境として遊び場の整備が必要となっています。さらに、今後の文化・歴史的資源の活用と、伝承について検討していくことが求められます。

北部地域 地域計画のキャッチフレーズ

来て・味て・歩いて・観て・知って！

地域で取り組むこと

① JRウォークに売り込め！地域の魅力がいっぱいのウォーキングコースづくり

一人ひとり・家族ができること【自助】

- 地域の史跡や文化資源のリストを作成し、ボランティアガイドとして協力します。
- 御番所跡や山国川からの眺望など、地域の絶景スポットのリストを作成します。
- 古くから伝わる郷土料理のレシピを作成し、地域の食文化を守るリストをつくれます。

地域みんなで協力していくこと【共助】

- 藩界や御番所跡、古表神社など地域の史跡・文化資源リストをまとめてマップをつくり、そこをめぐるコースづくりを行います。
- 地域の歴史資源を活かすため、地域の史跡・文化資源を説明できる地元有志によるボランティアガイドを育成します。
- 御番所跡からの眺望や、山国川からの眺望など、地域の絶景スポットをめぐるコースづくりを行います。

② 地域の絶景ポイントを守る

一人ひとり・家族ができること【自助】

- 地域の絶景ポイントを守るため、チラシを配って啓蒙活動を行います。また、北部地域の住民はごみを捨てないようにします。

地域みんなで協力していくこと【共助】

- 海の日清掃ボランティアに参加します。

③ 地域に様々なふれあいの機会をつくる

一人ひとり・家族ができること【自助】

- 漁港を活用します。

地域みんなで協力していくこと【共助】

- 公民館は世代を問わずに交流できる場とします。また、公民館を活用して地域住民のふれあいの場をつくります。
- 公民館を趣味やグループ活動にもっと気軽に利用してもらえるよう、使用基準の見直しや住民への周知に取り組みます。

行政と地域との協働で取り組むこと

- どの家にも救急車が寄り付くことができる道づくり
- 東部県界道路の早期完成（橋だけでも）
- ウォーキングロードをつくり、距離がわかるように表示
- 製薬工場の近くに工業団地を設置

ワークショップで出たアイデア・着想

- ・ みんなで協力して大名行列の通った旧豊前街道沿いの家並みを守る。
- ・ 中津市から小倉までを結ぶ豊前街道の市町と連携したコースづくりを行う。
- ・ バードウォッチングマップを作成し、そこを巡るコースづくりを行う。

